

平成24年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	緊急防災対策に係る原子力関連施設の安全確保		担当部局	警備局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年～		担当課室	警備課		警備課長 大石 吉彦		
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		施策名	複数施策(1～7)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第3、6、7号 警察法施行令第2条第1項第3、6、7号		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	原子力災害発生時において、原子力発電所等に常駐する部隊等が迅速かつ的確に負傷者の救出救助、立入規制、避難誘導等を行うことができるよう、これら部隊の対処能力を強化することを目的としたもの。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	東日本大震災における福島第一原子力発電所のような事案が発生した場合において、迅速かつ的確に負傷者の救出救助、立入規制等の初動措置に当たることができるよう、関連する部隊に対し、放射性物質からの防護、放射線量の測定に必要な装備資機材を整備するものである。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付 その他		
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算			0	46	348	
		補正予算			1,575	0		
		繰越し等			1,414	1,414		
		計			161	1,460	348	
	執行額			12				
執行率(%)			7%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	整備する装備資機材の種類		成果実績	種類			11	
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	整備する装備資機材の種類		活動実績	種類			11	
			(当初見込み)		()	()	()	
単位当たり コスト	12,140(千円/事業)		算出根拠	事業総額				
平成 24・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	車両購入費	46	0	整備終了のため 原子力施設等の防災対策の見直しに伴う装備資機材の増強				
	原子力災害対策用資機材の購入	0	348					
計	46	348						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	福島第一原子力発電所における事故を受け、原子力災害発生時における部隊の対処能力の強化が喫緊の課題となっているため、これら部隊の装備資機材を整備する本事業は優先度が高い事業である。また、警戒警備体制については、事業者による自主警備と警察による警戒警備により実施されており、双方の役割分担は明確になっている。 不用率が大きい理由は、不用額の大半が契約済み繰越額の契約差金であるため。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	福島第一原子力発電所における事故を受け、これまで被災地で活動してきた実情等を踏まえ、必要な資機材を整備するものであることから効果的な事業である。 競争性・効率性・経済性を高めるため、警察庁において一括調達することとしている。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各資機材ごとに勤務形態や部隊配置等を基に整備必要数を算出し、必要最低限の数量を整備することとしているため、効果的な整備である。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		1 支出先・用途の把握水準・状況 本事業の支出先・用途については、警察庁で直接契約しており、把握している。 2 見直しの余地 原子力災害発生時において、原子力発電所等に常駐する部隊等が迅速かつ確に負傷者の救出救助、立入規制、避難誘導等を行うことができるよう、これら部隊の対処能力を強化することを目的としたものであり、原子力災害対応を推進する上で引き続き必要となるものである。執行については、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行うとともに、過去の調達実績の反映等を図っており、今後も引き続き実施する。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1. 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2. 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3. レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		特になし	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	復興9

警察庁
12百万円



【一般競争入札等】

A 民間会社(2者)
12百万円

{ 物品の販売 }

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 帝商(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	放射性粉塵防護用マスクの購入等	11			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	帝商(株)	放射性粉塵防護用マスクの購入等	11	2	
2	日本エンコン(株)	放射性粉塵防護資機材の購入	1	6	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					